

地域活性化促進事業費補助金 取組事例

⑤

団体名	山梨不登校の子どもを持つ親たちの会（ぶどうの会）
代表者名	鈴木 正洋
所在地	山梨県笛吹市一宮町石字京戸 2 3 5 9 - 1 0 2

1. 事業名	不登校児童・生徒の立ち上がり支援
2. 実施期間	平成23年10月～平成24年3月
3. 補助金額	265,000円（事業費530,000円）
4. 事業概要	<p>1、講演会の開催</p> <p>3月25日（日）ぶどうの会7周年ついで記念講演 「生みの苦しみによりそって一不登校とむきあって35年―」 講師 高垣忠一郎立命館大学教授（臨床心理学）</p> <p>2、講演会報告集の発行</p> <p>3、不登校対応・啓発パンフレットの発行</p>
5. 得られた成果	不登校で悩み、辛い思いをしている親たちが、わが子を一人の人間として受け入れられる親に成長できる。また、不登校の解決は親の援助・対応が大きいことが、これまでの活動実績から明確であり、広く地域への普及を行うことで、不登校の児童・生徒の立ち上がりに効果が望める。
6. 課題	①県内の登校拒否・不登校で悩む親に対して、親の会（ぶどうの会）の存在をどう知らせていくか。②学校・教師との連携・拡大 ③親の会の新たな組織づくり
7. 今後の展開	パンフレット、報告集の普及に努めたい。 これまでの事業を継続・発展させたい。 県内の不登校を軸とした、教育・支援関係者とのネットワークづくりを進めたい。
8. 補助制度に対する意見・感想	はじめての補助金対象事業の経験で、とても有効活用できた。特に講演会では不登校での著名な講師を招くことができた。



★ 団体紹介 ★

ぶどうの会は、「すべての子ども達が、生き生きと自立へ向かって成長できることを願って、登校拒否・不登校・ひきこもりなどのことで、ひとりぼっちで悩む親や教職員がなくなるよう、お互いを支えあい、励ましあうとともに、一人ひとりの子どもたちの発達が保障される教育環境をすすめること」を目的にかかげ、父母と教職員が手をつないで、専門家をはじめ、登校拒否・不登校に関心のある個人や団体とともに学びあい、交流することを基本に活動を続けています。

地域活性化促進事業費補助金 取組事例

⑥

団体名	郷育フォーラム実行委員会
代表者名	塩澤 清司
所在地	甲府市相生2丁目2-17 甲府青年会議所内

1. 事業名	郷育フォーラム2011開催事業
2. 実施期間	平成23年6月～平成24年1月
3. 補助金額	955,000円（事業費1,910,000円）
4. 事業概要	「大人が変われば子どもが変わる」を合言葉に、「きょういくの心を育てよう」というスローガンを掲げ、甲府市・甲斐市・中央市・昭和町を対象エリアとしてフォーラムを開催。俳優「哀川翔」氏を迎え、子育て論を講演してもらったり、子ども大人も共に楽しむことができる企画を、21の参画団体と共に行った。 フォーラム開催—平成23年10月30日 甲府市総合市民会館 来場者約3200名
5. 得られた成果	今回で5回目となるフォーラムであったが、参画団体が増えてきている点、また、その参画団体を中心とした実行委員会の運営が自主的に行われてきている点は前進している点として自己評価できる。また、毎回楽しみにしていている子どもたちがいたり、次回の参画を申し出てくれている団体がある。さらに、このフォーラムを通じて、新たなチャレンジや結び付きが生まれてきている点も評価できる。
6. 課題	実際の活動スタートが平成23年1月末であり、その間に「東日本大震災」があったことで、計画の大幅な見直しをすることとなった。そうした不足の事態に対応する仕組みも考えておく必要がある点。また、参画団体との連絡調整をよりスムーズに行っていく仕組みが必要である。
7. 今後の展開	直近では2012年の開催に向け、実行委員会を立ち上げていく。 将来的には、山梨県全域に「きょういくの心」を合言葉にフォーラムなり、イベントが行えるようなつながりを目指していく。
8. 補助制度に対する意見・感想	東日本大震災の影響で、開催費用の捻出の問題が生じたが、本補助金により盛大に開催する事が出来ました。有難かったです。ただ、チャレンジ事業についてですが、1団体1回限りということではなく、5年間で2回までといった形式にしてくれると、事業の継続ということを見据えてのチャレンジが出来ると思います。

★ 団体紹介 ★

「郷育フォーラム」は、甲府・甲斐市・中央市・昭和町を中心として、故郷を知り愛する心を育むことで、子供の健全育成・地域の魅力づくりに取り組んでいます。

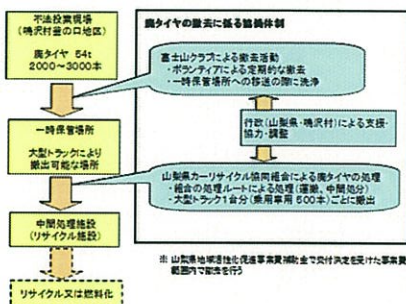


3市1町の議会がそれぞれ「きょういく(教育・郷育・共育)の日」を制定し、地域の特性を持った取り組みをしています。

その発表の場が「郷育フォーラム」でもあるのです。

地域活性化促進事業費補助金 取組事例

7

団体名	認定NPO法人 富士山クラブ
代表者名	理事長 奥島 孝康
所在地	南都留郡富士河口湖町西湖2870

1. 事業名	富士山クリーンアップ事業 ～不法投棄により長期間放置されている産業廃棄物の協働撤去体制の構築～
2. 実施期間	平成23年7月～平成24年2月
3. 補助金額	923,000円（事業費1,846,000）
4. 協働のパートナー	山梨県森林環境部環境整備課
5. 事業概要	<p>1) 協働体制の確立と撤去計画の作成</p> <p>富士北麓地域における不法投棄（特に産業廃棄物）の未然防止、早期発見、拡大防止、適正処理に向けた継続的な協働体制を確立し、確認されている廃タイヤと建設系産業廃棄物の撤去計画を検討・作成しました。</p>  <p>2) 不法投棄されている廃タイヤの撤去清掃活動の実施</p> <p>当クラブの団体会員や、企業・個人のボランティアにより、富士山北麓の山林内で計6回（計画は8回：悪天候により中止）の廃タイヤ撤去活動を無事故で実施することができました。（8月～11月）</p>  <p>3) 不法投棄の未然防止を図るための啓発活動とパトロールの実施</p> <p>不法投棄防止や廃棄物のリサイクルに関する啓発活動として、メディアの活用、当活動のパネル展示、2月23日富士山の日フォーラムの会場内での展示を実施しました。</p> <p>また、県や市町村と連携した不法投棄防止のためのパトロール活動を継続的に実施しています。</p> 

6. 得られた成果

・撤去活動実績一覧

活動実施日	活動団体	参加者数	撤去タイヤ数	(内訳)			
				TB	LT	PC	ホイール付
8月9日	「地球の歩き方」 富士山清掃登山ツアー (テスト活動)	26 (15)	367	0	0	367	0
8月24日	「地球の歩き方」 富士山清掃登山ツアー (テスト活動)	20 (13)	144	57	64	23	0
9月11日	みずほ証券	32 (15)	631	7	70	479	75
10月1日	OAG 税理士法人 SFP ダイニング	33 (17)	428	6	45	373	4
11月7日	関東電気保安協会労働組合	28 (19)	563	0	11	552	0
11月26日	富士山クラブ定例クリーン活動	62 (21)	604	88	171	307	38
合計 (全6回活動)		201 (118)	2,737	158	361	2101	117

※ 参加者数の () は、関係者数 (参加者数には含まず)

※ TB: 大型トラック・バス用タイヤ LT: ライトトラック用タイヤ
PC: 普通乗用車用タイヤ

回収廃タイヤ数: 2,737 本 回収総重量: 32,020 kg

・協働することができた関係者の皆様

山梨県カーリサイクル協同組合 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合
鳴沢村 富士山レンジャー (観光資源課)

不法投棄された廃タイヤのうち約 70%程度と思われる 2,737 本を撤去することができました。これまで当クラブの通常の活動で実施不可能な私有地内での活動を、県をはじめ関係各所との協働によって初めて実施することができました。

また不法投棄の未然防止のための啓発活動は、「富士山麓古タイヤ不法投棄防止集中キャンペーン (12月3日)」や「富士山の日フォーラム (2月23日)」等で実施し、多くの方々に協働体制と活動の成果をアピールすることができました。

さらにパトロール活動では富士山レンジャーとの合同パトロール (11月12日) や、「不法投棄防止県下一斉合同パトロール (10月14日)」への参加を通じて、情報共有とパトロール体制の連携を図ることができました。

7. 課題

台風等の悪天候によって当初予定していた活動実施回数には及びませんでした。また活動内容が非常に注目を集めたこともあり、協働体制をより広く告知することができる啓発活動を計画する必要性を感じました。さらに、24年度の廃タイヤ撤去活動、並びに建設系産業廃棄物の撤去に向けて、今回の協働体制をより広範なものにする必要があります。

8. 今後の展開

今回構築することができた協働体制を基に、24年度内には廃タイヤの撤去活動を完了させる予定です。また、より多くの関係団体や自治体との連携を広げて、同年度内には建設系産業廃棄物の撤去にも着手する予定です。

協働体制と活動の継続によって、富士山の不法投棄一掃を目指していきます。

9. 補助制度に対する意見・感想

総事業費における自主財源比率を下げただけだと、より多くの団体が行政との協働を図ることができると思います。

★ 団体紹介 ★

「美しい富士山を子どもたちに残していくために」をスローガンに、富士山の清掃活動や特定外来種の駆除活動といった環境保全活動、森林保全活動、また各学校団体等での環境教育活動やシンポジウムの開催を実施している県内初の認定NPO法人です。会員ではなくてももちろん活動参加はOKですが、団体会員・個人会員は随時受付中！ 詳しくは当クラブWEBページをご覧ください。(「富士山クラブ」で検索して下さい！)

いつでも楽しく、コツコツと活動しています！

地域活性化促進事業費補助金 取組事例

⑧

団体名	NPO法人 すてっぷ・あっぷる
代表者名	塚田 純子
所在地	甲州市

1. 事業名	子育て・親育ち事業
2. 実施期間	平成23年7月～平成24年3月
3. 補助金額	285,000円（事業費570,500円）
4. 協働のパートナー	山梨県福祉保健部児童家庭課
5. 事業概要	<p>母と子の心ぼかぼかピアノコンサート(H23.12.6) ピアニスト西方早百合・有加さんの4手連弾で、楽しい一時を。</p>  <p>ジブリやディズニーの曲ではノリノリでした。終わってからピアノを弾きたいお友達もたくさんいました。二人のお友達が先生たちに花束を渡しました。その後、ゆか先生に抱っこしてもらってピアノ初体験のお友達もいました。</p>  <p>参加者のコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子ども連れて生演奏は『夢のまた夢』とっていたので、癒された一時を過ごせました。 ・子どもに生の音を聞かせてあげられて良かったです。 ・みんな楽しそうでした。また参加したいです。 <p>参加者：約30組</p>

プレママ講座

助産師さんがお産のイメージトレーニング・呼吸法や、赤ちゃんの抱き方、おっぱいの飲ませ方の指導、産後ママとの交流会(情報や体験談を聞く座談会、様々な月齢の赤ちゃんを抱っこしてみるなど)、生まれてすぐの育児の悩みやその解消法などの情報提供、ベビーマッサージの体験などを行った。

参加者の声

- ・初めてのお産に向けて不安がいっぱいだったが、とても安心できて良かった。
- ・お産の具体的なイメージを持つことができた。
- ・生まれてからもすぐに相談できる場があることがわかって安心した。
- ・ベビーマッサージに来ている先輩ママとの交流が出来てよかった。



マタニティビクス



妊娠中の運動不足や体重増加の防止、より良いお産に向けての体調管理やお産に役立つ呼吸法やイメージトレーニング、助産師さんとの信頼関係の構築、ママ友作りや情報交換による出産に向けての不安軽減、先に出産した仲間との交流により赤ちゃんに触れ合い、産後の子育てのイメージを持つ、などの効果がある。

	<p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩こり、腰痛が楽になって、体が軽くなりました。 ・二人目ですが、託児をしてもらってリフレッシュできる時間になっています。上の子ども初めは離れられなくて託児に大泣きしていましたが、少しずつ慣れて他のお友達と楽しく遊べるようになり、出産の入院に向けて安心しました。 ・日頃の運動不足を実感しました。出産までがんばります。 ・今まで仕事をしていたので、子育て情報や地域のことが何も分からずにいました。生まれてからの事もいろいろ知ることが出来てよかったです。 ・10代シングルママになる決心をしました。不安も多いけれど、ここに来て友達も出来たり、相談もできてよかったです。 ・いつでも助産師さんに相談が出来て、顔を見るだけで安心できます。 ・スタッフの皆さんからも、いろんなお産を経験しているお話を聞いて、自分なりにがんばれば良いのだと少し肩の荷が下りました。
<p>6. 得られた成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> *県からの働きかけがあったおかげで、市町村その他団体にも交渉しやすかった。 *助産師会の全面的な協力が得られ、全県で今後も連携していける方向が見えた。 *甲州市でも徐々に、保健師の協力が得られ始め、PR効果が少しずつ出てきた。 *山梨市とも協力体制の構築に向けて少し進展が見られてきた。 *マタニティビクスを通して、妊婦と産後ママとのつながりが出来てきて友達作りや情報交換が出来、お産に向けての不安軽減に貢献している。 *一昔前とは違い、身近に相談できる年長者が少なくなっているため、子育ての一般常識や基本について一から指導する必要があるため、プレママ講座はとても役立っている。 *親子共々のリフレッシュに、音楽コンサートもとても好評だった。小さな子どもにも聞ける生演奏の機会は貴重なので、またやって欲しいという要望が多かったので、これからも続けていくように検討したい。
<p>7. 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> *甲州市でのマタニティビクスの開催に関して、健康増進課母子担当保健師から市内の妊婦全てに母子手帳交付もしくは妊婦健診の際に、マタニティビクスのチラシを手渡ししてもらう事を理解・承諾してもらうまでに多大の時間と労力がかかった。そのため、他の市町村に働きかけるまで手が回らず、他での開催が出来なかった。 *最近他の市町村とも少しずつ話が出来、連携もできそうな雰囲気になってきているので、もう少し時間があれば、山梨市・笛吹市辺りまで活動が広がられたと思う。私達法人としても事業年度が始まる前から、もっと下準備や打診、打ち合わせをしておけばよかったかもしれないが、今年度は震災の影響もあったので、いろいろなスタートが遅れてしまった。 *せっかく軌道に乗ってきたので、継続できるようこれからも働きかけを続けていきたいと思っている。
<p>8. 今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> *助産師会とこれからも連携を強めていく事により、県内全体に周知を広めていきたい。 *甲州市で妊婦支援を子育て支援の一環として認めてもらえるよう交渉していく。すでに、来年度の要望として市に要望書を提出した。

	<p>*より一層市と連携しつつ、実際のニーズにあった子育て支援に力を入れていきたいと思うので、県内外の様々な情報にアンテナを高く張っておくと共に、参加者や現場の意見をよく取り入れていきたい。</p>
<p>9. 補助制度に対する意見・感想</p>	<p>*県との協働が出来たことで、市町村行政に対して信頼度が高まったり、通知をして頂いたのが交渉しやすくなったりしたのはとても大きな収穫だった。</p> <p>*新しいNPO法人なので、まだ分からないことも多いが、この機会に県民生活・男女参画課とつながりが持て、色々教えて頂けたりご相談にのって頂けたりとたくさんお世話になった。とても助けていただいたし、心強く感じた。</p> <p>*今年は特に震災の影響でどこもスタートが遅れてしまったのは仕方ないことだったが、県の事業が始動するのが5月過ぎくらいだと、市町村などの年間計画は既に前年度に組まれているので、なかなかタイアップをお願いしても入り込めない事が多いように感じた。前年度の計画の段階で交渉していった方が効果的に行えるかもしれないので、助成金の募集や決定がもっと早い時期の方がよいのではないかな。</p> <p>*収益事業がなく、自己資金源も少ないNPO法人としては、助成金はとても欲しいが、1/2助成だと自己資金が少ないため、大きな事業展開が出来ない。満額の支援は無理なのだろうか。</p> <p>*単年度だと事業が完全に動き出す前に終わってしまうこともあるので、複数年度で事業がステップ・アップできるような形の継続ができるとありがたいと思う。</p> <p>*この事業だけでなく、ほとんどの助成金が通常の法人運営や、スタッフ人件費に使えないものがほとんどなので、一番必要な所に予算を回せないのが悩みである。</p> <p>*事業をはじめても継続することが重要であり大変でもあるが、多くの助成制度は新規事業に対してなので、継続事業の支援もあつたらありがたいと思う。</p>

★ 団 体 紹 介 ★

NPO法人すてっぷ・あつぷる

子育て家庭の親とその子ども、妊産婦や将来親になる者、並びに地域子育て支援者に対して、育児不安・悩みの緩和、子育て・親育ちに関する各種事業を行い、家庭と地域の育児力の向上と、子どもの心と体の健全な成長発達を促し、児童福祉の増進に寄与することを目的として活動している。

託児の様子




あつぷる祭



地域活性化促進事業費補助金 取組事例

⑨

団体名	ウィルパーティ
代表者名	泉 弘恵
所在地	中央市成島2264-6

1. 事業名	親子交流・社会参画推進事業 はじめのいっぽ
2. 実施期間	平成23年7月～平成24年3月
3. 補助金額	865,000円（事業費1,731,700）
4. 協働のパートナー	山梨県福祉保健部児童家庭課
5. 事業概要	<p>孤独になりがちな未就園児親子向けに、交流の機会を設けることを目的とする。初めて親子の集まりに参加することをためらっているママでも、親子向けカルチャーなら参加しやすい。また連続講座を行うことで、1回ではお友だちになれなくても回を重ねるごとに会話も増え、お友だち作り促進になる。更に養成講座も開催し、人材の創出を行う。</p> <p>「親子 de わくわく体験 DAY」</p> <p>H23.6.22 10:00～15:00 中央市玉穂総合会館2Fホールで開催 参加者：約120組</p> <p>ブース内容：子育てコーチング、親子英語遊び、フラダンス、タヒチアンダンス、イメージアップレッスン、運動神経を鍛える遊び、アロマ虫よけスプレー作り、スクラップブック作り、ネイルアート</p> <p>お楽しみコーナー：ヨーヨーつかみ、バルーンアート（プレゼント）、手型足型入りのうちわ作り</p> <p>遊びの広場：体操、巨大な紙にお絵かき、一時預かり</p> <p>その他：プロバイオリニストによるバイオリン生演奏、被災地応援フリーマーケット</p> <p>・朝一から並んで参加してくれた親子も多く、一日通して大変活気のあるイベントになった。各ブースをはしごして参加してくれたり、遊びの広場でゆっくり子どもと楽しんだり、フリマでたっぷり買い物をしたり。参加の仕方は様々でみんなとてもいい笑顔だった。「またやるときは是非来たい!!」という声もたくさん聞こえ、ウィルパーティメンバー一同充実した時間を過ごす事が出来た。</p>
	
	<p>お楽しみコーナー 遊びの広場&一時預かり 被災地応援フリマ</p>

「カルチャー教室 はじめのいっぽ」

現代の子育てで一番問題なのが「孤独」「見えない育児」だと思われる子どもとふれ合った経験がなく親になった人が多いので、どうやって子どもと接していいかわからず、悩んでいる母親は非常に多い。そんなとき、同じ月齢、ちょっと先輩のママ友がいることは大変大きな支えとなるが、出会う機会やお友達となるべく一歩踏み出すことが出来ずにいる人がたくさんいる。そこで、「親子対象カルチャー教室」と題して親子が自然と集まれる環境を作り出し、平日の昼間行き場を探している親子が楽しく過ごせる講座内容を用意。また連続講座を行うことで1回ではなかなかお友達になれない人も、何度か顔を合わせるうちに自然とメール交換をしたり、次回会う約束をしたり、打ち解けて行けるように促した。

「子連れヨガ」… 子どもは会場内のおもちゃで遊びながら、親は出産&育児で疲れた体をケア。終了後は同会場で食事もとれるため、参加者全員が自然とお友達になり、交流が始まった。人気講座で、現在は毎回定員いっぱい。

「運動神経を鍛える遊び」… 体育教師や日本発育発達学会認定幼少年体育指導士が内容を考案。様々な遊びを取り入れながら、親子が楽しく過ごせる人気講座。講座の中に、ちょっと気になる子どものこと（育児不安まではいかなくても）を自然と話し合う時間を設け、親子関係の改善も図っている。講座が終わるとみんな「すっきりした」「楽しかった！」などの感想を寄せてくれる。

「スクラップブック作り」… 同室内で子どもをスタッフが見てくれるので、家では出来ないような凝った作りのかわいい作品が出来上がる。作品作りをしながら会話も生まれ、お友達作りも出来る。連続講座も人気でアットホームな雰囲気で行っている。

「アロマ」… 虫よけスプレー、保湿ジェル、リップクリーム、万能塗り etc… いろんな講座がある。健康志向が高まる中で、子どもにも安心安全なものを使いたいと参加してくれるママも多い。

「子育てコーチング」… 子どもとの関係作りに悩む親は多いので、会話の仕方や自分の心の持って行き方を学びたいと、興味を持ってくれるママが多い。連続講座も人気。

「似顔絵」… 我が子の今を、写真だけでなくデッサンで残したい。と毎回キャンセル待ちが出る人気ぶり。待ち時間に参加者同士が会話しながら仲良くなる姿も見られた。

「ベビーマッサージ」… 2ヵ月から10ヵ月くらいまでの、まだあまり動けない赤ちゃんのマッサージ。子どももリラックスして、終了後は寝てしまうくらい心地好い。そんな我が子を見て母の気持ちも穏やかになっていく。まだ赤ちゃんの内にお友達が出来るのはとても大切で、参加してくれたママはリラックスした気持ちでゆったり会話しながら情報交換をしていた。

「ファーストサイン」… 6ヵ月から1歳半くらいの、まだ言葉が話せない子が手話で意思を伝えるようになる。子どもに慣れていない親も、